

二名公民館だより

発行
公益財団法人
奈良市生涯学習財団
二名公民館
奈良市学園赤松町3684番地
TEL&FAX 0742-46-9113
発行人 館長 泉森 奈央
発行日 令和2年10月15日
第7号



ホームページでもご覧いただけます

ふりかえりから学ぶ

一名公民館 館長 泉森奈央

法融寺からの坂道、上りきる
手前であつとマスクを外して
休憩します。振り返ると、生駒山と
浅黄色の空。好きな風景です。



せわしなく過ぎる一日の終り、ふと立ち止まる
と今日のハイライトが浮かびます。笑いも、後悔も、
驚きも、ほどほどにある穏やかな毎日。感謝しな
がら、心の中で一人小さな作戦会議。
明日も爽り多い一日になりますように。

一特集一 二名の伝統と 歴史の道をたずねる

地域の歴史は、そこに住む人の中にあります。そし
て、一人ひとりの思い出とともに蓄積されていきま
す。その貴重な歴史をふりかえり、語っていただくと
とで文字化し、記録に残したいと考えました。今回は
代々にわたり二名にお住まいの大木博(おおきひろ
し)さんにお話を伺いました。

▼大木さんがご存知の二名とはどんな地域ですか。
●このあたりは周囲が山に囲まれた穏やかな村でし
た。富雄川は「富小川(とみのおがわ)」という名の通
り、水質も水量も豊かで稲作が盛んに行われていま
した。また、松茸も多く採れました。秋から冬の

風景は、庭にコメ

ザを敷いてコメ

の粗干し。軒先

にはどの家も特

産の吊るし柿

(干し柿)があり、

蚕を飼っている



二名中学校区地域教育協議会
二名中学校区少年指導協議会
会長 大木 博 さん

家もありました。呼び名は、昔は「にみよう」ではな
く、「みみよつ」だったんです。今でもの土地への愛着
を込めて「みみよつ」と言っている人もいます。

幼い頃、朝から土手の草刈りをし、稲作の藁も切つ

て、牛に食べさせました。刈った生草は、蚊よけにも

使われました。乾いた草と違つてゆっくり時間をかけ

てくすぶつたので、その匂いが虫よけに良かったんで

すね。牛は、丹波の馬喰(ばくろつ)から子牛を買

い、家族の一員のように母屋の中で大切に育てまし

た。子牛と言っても大きくて、世話をしているも蹴ら

れるのが怖かったです。農作業中の牛は駄々をこねて

動かなくなるこゝがあります。そういう時は牛が動

くまで、牛とともにゆったりと時間を過ごしました。

▼牧歌的な情景が浮かびますね。昔と今、親子の様

子は変わってきたと感えておられますか。

●親の思いや子どもとの心根は変わりませんが、周り

の変化は感じます。たとえば昔は、自然が大きな教

室で、川や池で生き物、もの大切さについて学ばま

した。年下の子は年上の子からいろいろ教わつたし、

草で指を切つて痛さの体感・実感を学べました。

でも今はいろいろなこゝが「危険」「だめ」と言われ
ます。自然の中でいろいろな子とまじりあい、我慢を
しながら地域を知ることが難しい時代だと感じま
す。

子どもは地域が育てる。地域が育てば子どもは育
つと常々思っています。二名地区は「子どものために」
という思いが定着しています。学校の設置には地主さ
んから農地提供の協力がありました。広い敷地での
びのびと子どもたちが育てているのもその表れです。

▼二名中学校がたいへんな時期には地域の方が一丸

となつて力を尽くされたようですね。

●教職員・PTA・地域活動団体、住民、みんなで「二

名中のため」に問題に取り組みました。「おはよう運

動」や「土曜日お父さん出番です」など学校行事は

土日にしたのです。とにかく保護者の方々に学校足

を運んでもらつて、子どもたちの立ち直りを応援し

ました。

そんなこゝで実現したのが、『だから、あなたも生

きぬいて』の著者、大平光代さんの講演でした。淡々

とした口調で語られる大平さんの壮絶な人生に生徒

の心が動かされたのか、講演が終わつた時、やんちゃ

な子たちが大平さんにかけよつて「また来てやー」が

んばつてください」と言つていた姿が今でも印象に残

っています。

また、先生方が慣れない手つきで大工道具を持

つて、毎日の校舎補修をしてくださった心意気。今でも

感謝がありません。

「このような時期を経て思うことは、この校区の先生

方PTA・地域の方々の底力のすこさ、温かさ、そし

て寛容さと包容力です。地域が大きな「輪」になつて

「話し合い、その中で生まれる「和」を大切にしてい

る、素晴らしい地域です。

▼ありがたうございました。(取材・泉森／写真・森)

主催講座に「参加ください

「宿題のない読書会」

中学校の教室で青春を語り、お寺で人生についてお
互いの思いを聞き合つ。マンガや絵本もOKの、
ちよつと風変わりな自由な読書会です。

〔全4回連続講座〕

●日時：①12月12日②来年1月9日③2月13

日④2月27日 土曜日

10時～11時半

●対象：奈良市在住(在勤在学可)定員10人

●内容：①8分間読書会(二名公民館)②学生時

代と青春(二名中学校教室)③人生につい

て(法融寺)④大人の遊びと楽しみ

(fuyuspringまちライブラリー)

※()内は会場

●申込：往復はがきに「講座名・氏名(ふりがな)・

住所・電話番号・年齢」を記入して二名公

民館(学園赤松町3684)まで。または

郵便はがきを添えて公民館窓口へ。奈良

市生涯学習財団ホームページからも申込

可。申込多数の場合は抽選。

●締切：11月19日(木)必着

「二名」に「広場」9時～12時・自由入場・一部

託児がある回は★要予約(定員あり)

10月22日・11月★12日・19日・★26日・

12月10日24日・1月14日・28日 木曜日

★ゲスト講師の時間は10時30分

「みんなでたのしく健康体操」10時～11時30

分・自由入場)11月10日・12月8日・1月19日

火曜日 ★要運動できる上靴と服装



こんな講座ありました！ 探検☆あるきますくフリー

～あそびのがっつり～

朝晩は随分と涼しくなりました。もう秋なんだなあと実感するとともに、少しセンチメンタルになりそう今日この頃…。

そんな気分を吹き飛ばしてくれそうな講座

「探検☆あるきますくフリー

～あそびのがっつり～を、

9月13日に実施しました。

先生は、なんでもあそびデザ

イン代表の「はっしー」こと、

橋本高志さん。今年度は感染

症対策を講じて

二名公民館周辺

を探検するワオ

ークラリーを開

催しました。

参加者は小学

生18人。コマ図

と呼ばれるルートマップを頼りに、4班に分か

れてチェックポイントを通りゴールをめざしま

す。チェックポイントではメンバーと協力して解

く謎解きや指令があり、初対面でも自然と会

話が弾みました。道中は平坦な道ばかりではな

く、上り坂や下り坂があり、時に迷って苦戦す

る場面も。

そんな子どもたちに同行してくれたのは、二

名公民館を拠点に親の育ちや地域の子育てを

支援する「まなぼう会」メンバーの皆さんでし

た。正解を教えず、手を出さず、でも危険から

は守る。優しく心強いサポートに支えられて、



子どもたちは一層軽やかに歩きます。

コマ図を正確に読み取り先導する子、謎解き

をいち早く説いて周囲に解説する子、通り過

ぎる車すべての車名を覚えてくれる子。みず

みずしい頼もしさを感じました。

光を浴びて黄金色に染まる稲穂を見渡し、

爽快感に包まれて歩くこと1時間。豊かな自

然と素敵な人に恵まれた魅力的な二名地域

を感じ、何だか嬉しくて晴れやかな気分にな

りました。

講座が終了して4週間が経った今も、

保護者の方から「娘がお友達と一緒にもう

一度歩いたそうです」「親子3組で歩いて来

ました」など嬉しい声をいただいています。

今回は、講座に使用した『遊び方(ル

ール)』『チェックポイントの指令と謎解

きクイズ』『コマ図』のデータが読める

QRコードを左に貼り付けています。

また、公民館窓口にてお渡しすること

もできます。よろしければ、皆さんも

歩いてみてください。これから本格的

な秋を迎えます。ウォークラリーを楽しみな

がら、二名地域の魅力

を再発見してはいかが

でしょうか。(岡西)



チャレンジしてくださいね



公民館使用の一部緩和

10月1日より公民館活動の規制が緩和され
ています。詳しくは財団HPをご覧ください。
引き続き、感染対策にご協力ください。

二名おはなし会 お月見俳句

長年地域で親し

まれている、二名

おはなし会の「お

月見会」。今年は、

例年と形を変えて、

「お月見俳句」を

開催されました。

その経緯と思いについて、活動リーダーの方にお話を

うかがいました。

▼今年は一月中止を検討されたそうですね。

●はい。今は集まること自体が難しいです。それ

でも、何かできるのではと話し合いを重ねました。

いろいろ意見を出し合った結果、俳句なら十五夜に

各家庭で句を詠み、お月見を楽しめるのではと。

たとえ離れていても、みんなが同じ月を見上げて同

じ時間を共有できる。気持ちをひとつにできる。

これが、私たち二名おはなし会が大切にしたい思い

でした。

▼どのような工夫をされたのでしょうか。

●応募用紙付きのチラシで俳句を募集しました。

手作りの応募箱(右の写真)を二名小学校と二名

公民館に設置して。応募はメールでも受け付けた

他、QRコードから簡単に応募フォームで送信できる

ようにもしました。また、ちよとお楽しみをプラス

して二名おはなし会と地域の人が選ぶ賞を設けたり

しました。

▼たくさんのお応募があったようですね。

●192句も応募いただきました。これを句集にし

て、応募してくださった皆さんのプレゼントとしてお

渡ししたいと思っていますので、どうぞお楽しみに！



▼ありがとうございました。

「お月見俳句句集の展示」

二名おはなし会と地域の皆さんの思いが詰まった

句集を、ぜひご覧ください。↑

期間：11月7日(土)～11月29日(日)

場所：二名公民館 1階ロビー

★句集の発行をもって入賞作品の発表としていま

が、同会にお断りの上、一足早く本号左に掲載さ

せていただきました。ご了承ください。

★同グループ情報は財団HPをご覧ください。

★入賞作品★

見つめると なんだか笑顔の お月様
名月や 久々響く お猪口の音
お月さま ついてきてると 見返す子
校庭に ぼっかりまん丸 お月さま
うさぎさん まん月の日に もちをつく
お月見だ おだんこつ ないだれた
十五夜に お月見パーカー 初体験
十九年 巡る中秋 誕生日
こっそりと 十五夜うさぎ つれてきた
だんご食べ 月より先に 眠くなる

ぼちぼち本棚

(2週間貸出できず)

★新しく入った本★

「82年生まれ、キム・ジョン」「コロナのせいにして
みよう」「LIFE SHEET 100年時代の人生戦
略」「インパクト大全」「アウトパクト大全」「記憶喪
失になつたぼくが見た世界」他

編集後記

取材を通して、多くの方から「自身の活動と地
域に対する深い思いに触れることができました。